2026年3月期

第2四半期(中間期)決算説明資料 [IFRS]

(2025年4月-2025年9月)



証券コード:5938



2026年3月期上期 業績の総括

2026年3月期 上期実績 前年同期比、減収なるも事業利益·EBITDAともに改善

国内

- ・1Qにて発現した建築基準法の改正(4号特例の廃止)の駆け込み 需要の反動減ある中で、水まわりリフォーム商材は引き続き堅調維持
- ・LHTの事業利益は、窯業サイディング事業に関連する追加費用計上により前年比横ばい。リフォーム売上は、プロモーション効果により9月以降増加傾向

▶海外

- ・LWT海外事業は、売上は前年比減収なるも事業利益は大幅改善
- ・欧州・中東・インドは、好調継続。米国・中国は住宅景気の低調継続

Ⅰその他

- ・連結子会社(LIXIL Europe)における法人税率変更により税金費用減少。通期業績予想に変更なし(他要因含めて3Q以降に精査)
- ・ 通期配当予想に変更なし。中間配当は、期初予想通りの45円を決議

2026年3月期 足元の事業環境と今後の見通し:国内

新築着工低迷等、事業環境は厳しい状況継続するも、リフォームを中心に好調継続中

■LWT事業(日本)

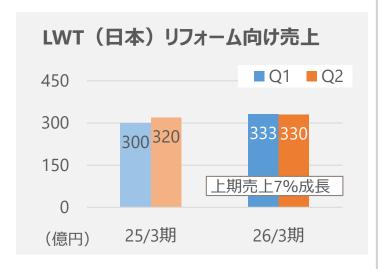
- ✓ 新築向けの駆け込み影響は 収束するも、リフォーム向け売 上は好調継続する見込み
- ✓ ショールーム来訪者数は、8-9月にて増加傾向

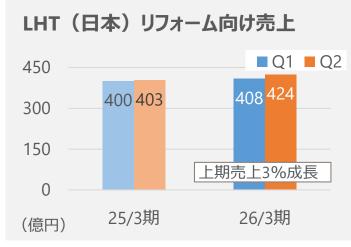
■LHT事業(日本)

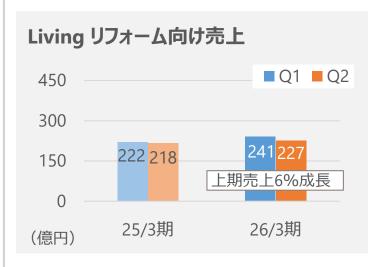
- ✓ 新築着工数低迷による影響 は継続
- ✓ 窓リフォーム補助金対象商品のプロモーションを展開中。3Q以降も売上増加の見通し

■ Living事業

- ✓ 新築向けの駆け込み影響は 収束するも、水回り商材リ フォーム売上は好調継続する 見込み
- ✓ 商品ミックス悪化により、2Qに 収益性が若干悪化。高価格 帯商材の売り伸ばしに注力





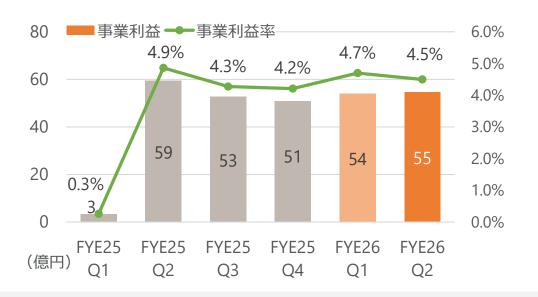


> 本日のポイント

2026年3月期 足元の事業環境と今後の見通し:LWT事業(海外)

■LWT事業(海外)

- ✓ 全世界的に金利低下の傾向にあるも、主要市場の欧州では政権不安定により住宅建設 促進の政策決定に遅れ
- ✓ 欧州は構造改革効果・カラー商材等の売上 好調により収益性回復傾向
- ✓ 米国・中国は引き続き需要低迷継続
- ✓ 中東・インドは引き続き旺盛な需要継続



米国

- 今後、利下げフェーズとなり、住宅ローン金 利も一時期に比べ僅かながら低下傾向
- 関税・移民政策が住宅市況の回復を遅らせており、今期一杯は厳しい状況が継続
- 価格改定・構造改革効果は今期より段階的に発現見込み(来期以降本格的に発現見込み)

金利及び住宅着工数の推移(1)



2026年3月期 足元の事業環境と今後の見通し:LWT事業(海外)

欧州・IMEA (インド、中東、アフリカ地域) 地域

- 市場の本格回復は来年以降と予測するもカラー商材好調・販売施策により売上が前年比5%改善(前々年比13%改善)
- 欧州地域は、構造改革実施による固定費 削減効果により、収益性が安定
- IMEAは中東の旺盛なプロジェクト進行により、売上が前年比16%成長、利益に貢献

水栓金具に占めるカラー商材の売上構成比



アジア太平洋地域、中国

- しばらく不動産不況が続いたベトナムは、足元回復傾向。前年同期比売上10%改善
- タイは景況感・競合悪化により低迷継続
- 中国は、衛生陶器市場は景況感・競合悪化により厳しい状況が継続。当社強みである GROHE製品は、足元前年比売上25%改善

中国における新設住宅着工面積の前年比増減率の推移(1)



前年同期比で減収増益

- 売上収益 7,359億円、前年同期比 38億円減
 - · 2Q3ヵ月(増減率):国内 0%、海外 +1%(為替影響除く、-1%)
 - ・上期6ヵ月 (増減率): 国内 +1%、海外 -4% (為替影響除く、-3%)
- 事業利益 169億円、前年同期比 64億円増
 - 2Q3ヵ月(増減額):LWT +1億円、LHT -15億円、Living -1億円、連結調整/他 -6億円
 - 上期6ヵ月(増減額):LWT +65億円、LHT -1億円、Living +7億円、連結調整/他 -8億円
- EBITDA⁽¹⁾ 578億円、前年同期比 55億円増
- 最終中間利益② 34億円、前年同期比 73億円増
 - ・2Q3ヵ月(増減額): その他費用の増加あるも、法人所得税費用減少により前年 比23億円改善
 - ・上期6ヵ月(増減額): その他費用ならびに金融費用の増加あるも、事業利益改善 善および法人所得税費用減少により前年比73億円改善
- (1) EBITDA=事業利益+減価償却費
- (2) 最終中間利益=親会社の所有者に帰属する中間利益

> 2026年3月期 上期 連結業績結果

		上期	6ヵ月		第	2四半期 3ヵ月	3
(億円)	25/3期	26/3期	前年 同期比	%	26/3期	前年 同期比	%
売上収益	7,398	7,359	-38	-0.5%	3,713	+13	+0.4%
売上総利益	2,412	2,519	+107	+4.4%	1,271	+33	+2.7%
(%)	32.6%	34.2%	+1.6 pt	-	34.2%	+0.8 pt	-
販管費	2,307	2,350	+44	+1.9%	1,193	+53	+4.7%
事業利益(1)	105	169	+64	+60.4%	78	-20	-20.5%
(%)	1.4%	2.3%	+0.9 pt	-	2.1%	-0.6 pt	-
非継続事業を含む 最終中間利益 ⁽²⁾	-39	34	+73	-	43	+23	+121.4%
EPS (円)	-13.69	11.67	+25.36	-	14.84	+8.14	-
EBITDA ⁽³⁾	523	578	+55	+10.5%	285	-21	-7.0%
(%)	7.1%	7.9%	+0.8 pt	-	7.7%	-0.6pt	-

■ 売上総利益率: 前年同期比1.6pt良化

■ **販管費:**国内人件費を主因に前年同期比44億円の増加(日本+47億円、海外+4億円、為替換算影響-7億円)。販管費率は、0.8pt悪化

■ 事業利益率:前年同期比0.9pt良化

⁽¹⁾ 日本基準の「営業利益」に相当

⁽²⁾ 親会社の所有者に帰属する中間利益

⁽³⁾ EBITDA=事業利益+減価償却費

> 2026年3月期 上期 業績概況

LWTは、日本・海外事業ともに増益。高収益な欧州・中東の売上改善が増益に貢献。 LHTは、売上が微減なるも価格改定とリフォーム向け売上増加により利益横ばい。 Livingは、リフォーム向け売上が堅調に推移し増収増益

			上期 6ヵ月	第2四半期 3ヵ月		
	(億円)	25/3期	26/3期	前年同期比	26/3期	前年同期比
LWT	売上収益	3,969	3,929	-40	1,997	+24
LVVI	事業利益	140	206	+65	99	+1
LUT	売上収益	2,612	2,592	-21	1,309	-12
LHT	事業利益	123	123	-1	62	-15
Lindon	売上収益	978	1,003	+26	491	+2
Living	事業利益	27	34	+7	13	-1
△ 计 / 请	売上収益	-161	-164	-3	-84	-1
全社/連結調整	事業利益	-186	-194	-8	-96	-6
∆ =1	売上収益	7,398	7,359	-38	3,713	+13
合計	事業利益	105	169	+64	78	-20

▲ 為替影響(1)

2Q3カ月: 売上収益 +29億円、事業利益 +1億円 **上期6カ月**: 売上収益 -29億円、事業利益 +1億円

⁽¹⁾ 在外子会社からの損益の為替換算影響額

^{(2) 26/3}期からセグメント区分を変更しています。旧区分での業績につきましては、次頁をご覧ください

> 2026年3月期 上期 業績概況

旧報告セグメントによる上期業績は以下のとおり

			上期 6ヵ月					第2四半期	月3ヵ月	
				育	前年同期上	t		前	年同期比	í
	(億円)	25/3期	26/3期		セグメント 変更による 増減(2)	セグメント 変更を除く 増減	26/3期		セグメント 変更による 増減 (2)	セグメント 変更を除く 増減
LVA/T	売上収益	4,550	4,533	-17	+23	-40	2,290	+29	+5	+24
LWT	事業利益	152	229	+76	+11	+65	106	+3	+2	+1
LUT	売上収益	2,900	2,877	-24	-3	-21	1,450	-16	-4	-12
LHT	事業利益	138	134	-4	-4	-1	68	-17	-2	-15
全社/	売上収益	-53	-50	+2	+6	-3	-27	0	+1	-1
連結調整	事業利益	-186	-194	-9	0	-8	-96	-6	0	-6
Δ=1	売上収益	7,398	7,359	-38	-	-	3,713	+13	-	_
合計	事業利益	105	169	+64	-	-	78	-20	-	-

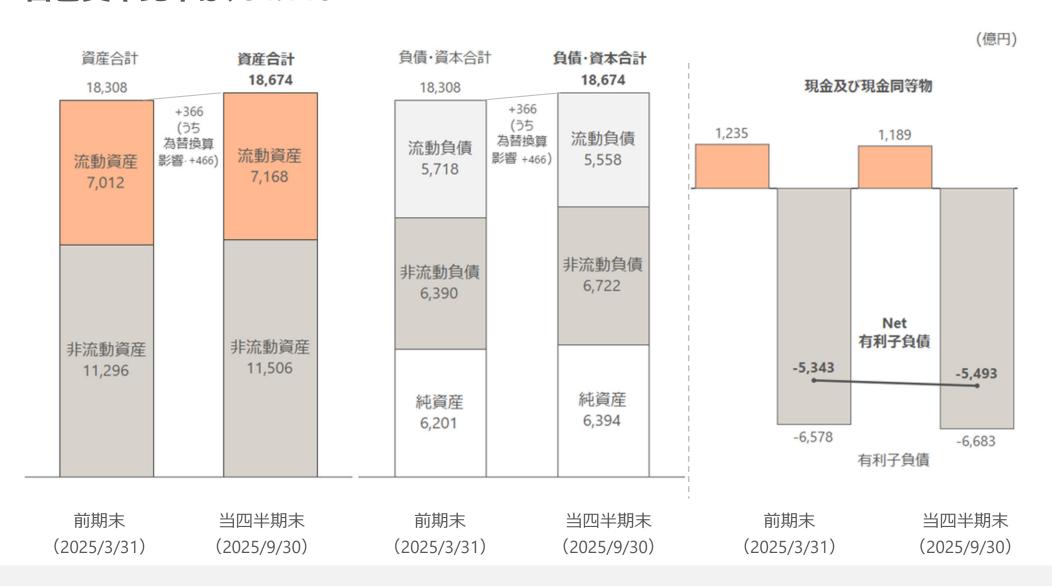
▲ 為替影響(1)

2Q3カ月: 売上収益 +29億円、事業利益 +1億円 **上期6カ月**: 売上収益 -29億円、事業利益 +1億円

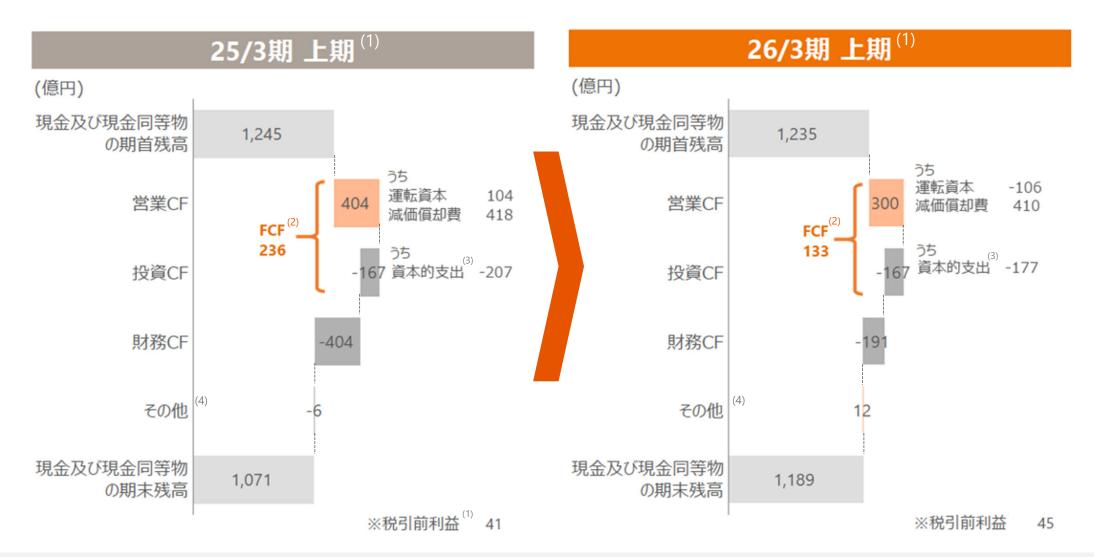
(1) 在外子会社からの損益の為替換算影響額

(2) 2報告セグメントから3報告セグメントに変更したことに伴う連結調整額を含む

総資産は微増。欧州における資産が為替換算影響により増加。 自己資本比率は、34.1%



棚卸資産増加により営業キャッシュフローは前年比減少するも、フリーキャッシュフローはプラスを維持



⁽¹⁾ 非継続事業を含む

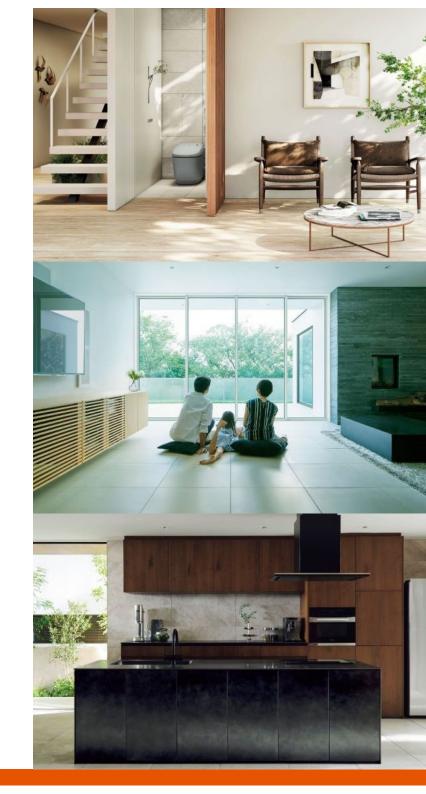
⁽²⁾ フリーキャッシュフロー (FCF) = 営業CF+投資CF で計算

⁽³⁾ 資本的支出=有形資産の取得+無形資産の取得 (IFRS16 リースによる使用権資産の取得を除く)

^{(4)「}その他」= 為替換算影響額

セグメント別決算の概要

- ウォーターテクノロジー事業 (LWT)
- ハウジングテクノロジー事業 (LHT)
- リビング事業 (Living)
- 商品・製造プロセス・ビジネスモデルにおいて類似点の多い「ウォーターテクノロジー事業」の「キッチン・洗面事業」及び「ハウジングテクノロジー事業」の「インテリア事業」を統合し、2026年3月期1Qより「リビング事業」として新セグメントを発足しました。
- 近年の事業環境の変化を踏まえ、特に成長が著しいインドと中東の重要性が 増していることから、区分を下記の5地域に変更しています。
 - アメリカ
 - 区欠州
 - インド、中東、アフリカ地域
 - アジア太平洋地域
 - 中国



日本事業はリフォーム向け売上好調により増収増益。海外事業は、欧州・中東の売上好調なるも、米国・中国の売上減少の影響を受け、減収増益

		25/3期 上期実績	26/3期 上期実績	前年同期	期比	26/3期 業績予想	
	(億円)	上州大帜	上州大帜	増減	%	未模了心	
	売上収益	1,480	1,540	+60	+4.0%	3,200	
日本	事業利益	78	96	+19	+24.1%	205	
	%	5.3%	6.3%	+1.0 pt		6.4%	
(1)	売上収益	2,489	2,389	-99	-4.0%	5,110	
海外 ⁽¹⁾	事業利益	63	109	+46	+74.1%	200	
	%	2.5%	4.6%	+2.0 pt	_	3.9%	
	売上収益	3,969	3,929	-40	-1.0%	8,310	
LWT合計	事業利益	140	206	+65	+46.4%	405	
	%	3.5%	5.2%	+1.7 pt	_	4.9%	

売上収益

- **日本:**リフォーム売上が好調に推移し、前年同期比で増収
- **海外**②:欧州・中東にて売上増加するも、米国・中国の需要低 迷継続、前年の米国の浴槽事業譲渡に伴う売上減少の影響を 受け、現地通貨ベース・円貨ともに減収
- **海外売上比率:**前年同期比1.9pt減の60.8%

事業利益

- **日本:**価格改定効果に加え、リフォーム売上が好調に推 移し、前年同期比増益
- **海外**⁽²⁾: 欧州・中東の売上増加に加え、操業改善効果 により、前年同期比増益
- 海外事業利益比率:前年同期比8.4pt増の53.1%
- (1) 2025年3月期実績は2025年3月に第三者に譲渡した米国の浴槽事業を含む
- (2) 為替影響を除く前年同期比:売上収益-71億円、-3%。事業利益+46億円、+73%

) ウォーターテクノロジー事業 (LWT) 海外地域別売上収益

A A	

地域別売上(マネジメントベース) ⁽¹⁾ (億円)	26/3期 上期実績	前年同期比 現地通貨 ベース	26/3期 業績予想	前年同期比 現地通貨 ベース
アメリカ	768	-5% ⁽²⁾		+10%(3)
区欠州	867	+5%		+5%
IMEA(インド、中東、アフリカ地域)	371	+16%		+12%
アジア太平洋地域	204	+1%		+11%
中国	207	-7%		+7%
連結調整・他	-29	_		_
	2 200			
LWT海外合計 (制度会計ベース)(1)	2,389		5,110	
	(前年同期比 -4%)		_(前年同期比 +4%)	
円貨 現地通貨				

アメリカ	減収	減収	✓ リフォーム市場の需要回復に至らず。1Qの基幹システム刷新影響あり減収✓ 浴槽事業譲渡を皮切りに、さらなる商材・販売先のシフトを加速し、収益性向上を目指す
欧州	増収	増収	✓ ドイツ、オランダ、イタリア等、主要地域における販売数量増加により増収✓ 水栓金具はカラー商材の売上が好調、大半の商品カテゴリーで売上が回復し、増益に寄与
インド、中東、アフリカ	増収	増収	✓ 中東は堅調な需要継続によりサウジアラビア、湾岸諸国等を筆頭に全地域で増収✓ インドは好調だった前年並みの売上を維持
アジア太平洋 減収 増収		増収	✓ ベトナムはプロモーションにより小売り向けの売上が回復し増収 ✓ タイは需要低迷と地震によるプロジェクトの遅延により減収
中国	減収	減収	✓ 不動産市況低迷が継続し、消費者需要の回復を抑制✓ GROHE製品は売上が回復するも、他ブランドは厳しい競争環境が継続し減収

- (1) 制度連結会計 為替レート: 26/3期 上期実績 1USD=146.57円、1EUR=167.74円 マネジメントベース為替レート: 26/3期 1USD=155.0円、1EUR=161.2円
- (2) 浴槽事業譲渡に伴い、前年の売上から除いています。譲渡した浴槽事業の売上を昨年の売上に加えた前年同期比は-14%となります
- (3) 売上成長率予想の算出にあたっては、米国の浴槽事業譲渡の影響を除いた数値を使用しています。浴槽事業を昨年実績に加えた前年同期比は-1%となります

日本事業は、売上はリフォーム向けが新築向けの落ち込みをカバーしほぼ横ばい。 海外事業はタイ・ベトナムの市況低迷影響をインドにおける販売拡大にてカバー

(億円)		25/3期	26/3期	前年同期	期比	26/3期	
		上期実績	上期実績	増減	%	業績予想	
	売上収益	2,483	2,463	-20	-0.8%	5,090	
日本	事業利益	117	119	+2	+1.8%	280	
	%	4.7%	4.8%	+0.1 pt	-	5.5%	
	売上収益	130	129	-1	-0.6%	280	
海外	事業利益	7	4	-3	-40.3%	15	
	%	5.1%	3.0%	-2.0 pt	-	5.4%	
(1)	売上収益	2,612	2,592	-21	-0.8%	5,370	
LHT合計	事業利益	123	123	-1	-0.4%	295	
	%	4.7%	4.7%	+0.0 pt	_	5.5%	

売上収益

■ リフォーム売上は堅調に推移するものの、新築向け売上 微減により前年同期比横ばい

事業利益

- 新築向け売上減、窯業サイディング事業関連の費用計上の影響あるも、価格改定効果と在庫評価益の影響もあり、前年同期比横ばい
- ビル事業は収益性が向上し、利益貢献

リフォーム向け売上が堅調に推移し増収増益

		25/3期	26/3期	前年同	期比	26/3期
	(億円)	上期実績	上期実績	増減	%	業績予想
	売上収益	978	1,003	+26	+2.6%	2,100
Living合計	事業利益	27	34	+7	+26.4%	105
	%	2.8%	3.4%	+0.6 pt	-	5.0%

売上収益

■ リフォーム向け売上が好調に推移。キッチンは新築向けも 好調を維持し、前年同期比で増収

事業利益

■ 商品ミックス悪化により2Qにて増益幅が減速するも、リフォーム売上が好調に推移し、前年同期比増益。原材料・資材のコスト上昇を価格改定効果にてカバー

キッチン「リシェル」



洗面化粧台「ルミシス」



インテリア建材「ラシッサ」



) (ご参考) データ集

(0/)

) 商品・サービス別売上状況

LWTは、リフォーム需要と価格改定効果・販売施策がけん引し好調維持。LHTは、住宅サッシは前年並み。リビングは、キッチンの増加幅がやや減速するも好調維持

					(億円)						(%)
							前	丁年同期 比	វ		
セグメント	主要商品名	25/3期 通期実績	25/3期 上期実績	26/3期 上期実績	前年 同期比		25/	3期		26/	3期
					(%)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
LWT	衛生機器** ⁽¹⁾	1,152	534	563	+5.4%	+5.7	+8.7	+10.9	+6.9	+8.6	+2.5
	バスルーム	924	447	461	+3.2%	+4.2	+0.6	+4.5	+1.6	+6.3	-0.1
	タイル	302	145	143	-1.5%	-0.9	-6.2	-3.1	-3.0	-2.6	-0.5
LHT	住宅サッシ	1,879	944	944	+0.1%	+1.3	-5.4	+5.6	+4.5	+0.6	-0.5
	エクステリア	945	469	481	+2.5%	-0.5	-3.4	-2.1	+5.5	+3.7	+1.3
	その他LHT	387	191	192	+0.4%	-12.1	-13.3	-8.5	+1.2	+1.4	-0.6
	ビルサッシ	1,010	488	461	-5.5%	+2.0	+8.0	-6.1	+1.9	-9.3	-2.2
	住宅・サービス事業	190	94	86	-9.0%	-26.7	-25.0	-1.7	-8.0	-6.8	-11.1
Living	キッチン	1,004	476	495	+4.1%	+2.3	+1.0	+2.5	+4.7	+6.8	+1.4
	洗面化粧台 (1)	366	173	177	+2.4%	-5.8	-6.4	-4.7	-7.0	+3.4	+1.4
	インテリア建材	572	275	275	+0.2%	-3.7	-4.9	-2.2	+0.7	+3.0	-2.4
	海外売上 ⁽²⁾	5,194	2,618	2,518	-3.8%	+9.9	+1.2	+5.7	-2.5	-8.5	+1.0
	その他・連結調整等	1,122	544	562	_						
売上合計	t	15,047	7,398	7,359	-0.5%	+3.0	-0.8	+2.6	+1.1	-1.4	+0.3
(ご参考)	**「衛生機器」に含まれ	る水栓金具の)売上状況								
LWT	水栓金具	280	128	140	+9.8%	-0.3	+15.3	+10.7	+8.5	+16.0	+4.3

^{(1) 25/3}期 1Qより衛生機器と洗面化粧台売上の社内管理方法を変更しました。25/3期の増減率については、過去の決算説明資料をご参照ください

⁽²⁾ 海外水まわり事業の商品別売上状況については、p.19参照

LIXIL

)日本 - 国内リフォーム戦略の進捗: リフォーム向け売上の拡大への注力

リフォーム商材売上構成比1.6pt上昇。全セグメントで堅調なリフォーム需要が継続し、 リフォーム比率が前年比向上

			上期	第2四半期 3ヵ月				
	(億円)	25/3期 実績 ⁽¹⁾	26/3期 実績	増減	前年 同期比	26/3期 実績	前年 同期比	
リフォー	·厶商材売上	1,847	1,936	+89	+4.8%	969	+3.3%	
LWT-J					+7%		+3%	
LH	łТ				+3%		+5%	
	ビル事業除く				+4%		+5%	
	ビル事業				-6%		+6%	
Living					+6%		+4%	
リフォーム売上構成比		46%	47%	+1.6pt		47%	+1.4pt	

セグメント別リフォーム売上構成比

	25/3期 上期	26/3期 上期	増減
LWT	55%	57%	+1.7pt
LHT	41%	42%	+1.4pt
Living	47%	49%	+1.7pt
国内•計	46%	47%	+1.6pt

リフォーム内窓「インプラス」



> 海外 - ウォーター事業における海外事業の成長促進の進捗

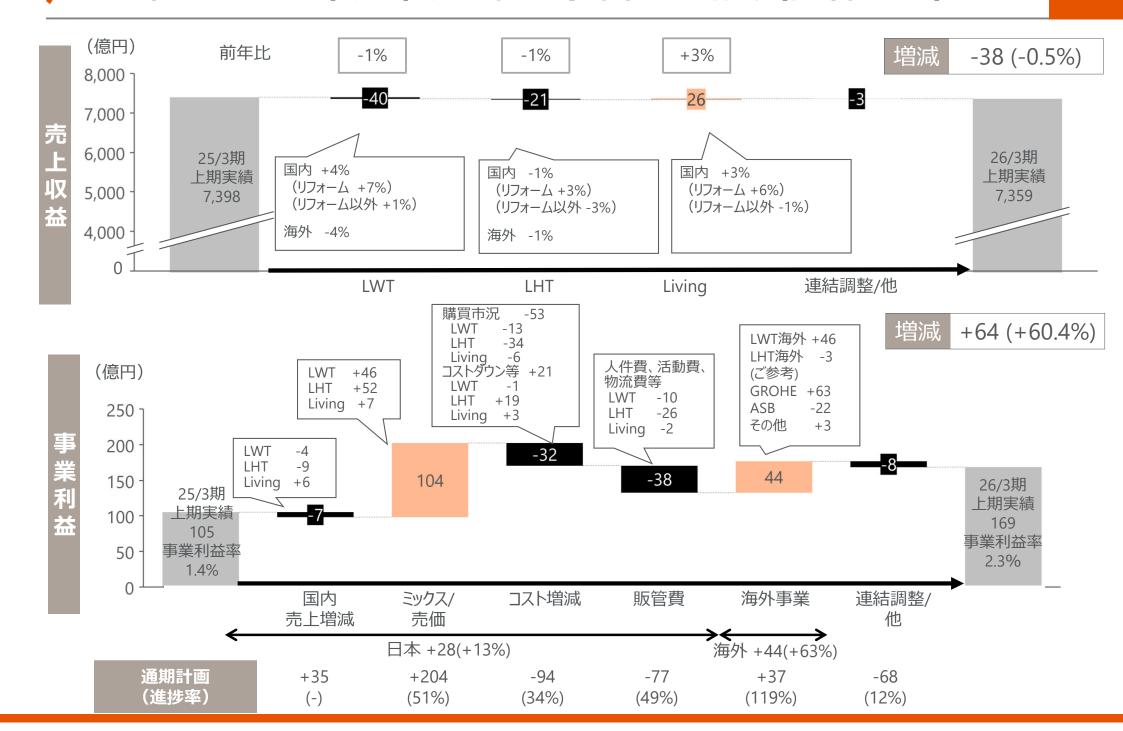
LIXIL

ブランド・ポートフォリオやグローバルな開発体制、差別化された商品の展開により、 現地ニーズに迅速に対応し、海外事業の成長を促進⁽¹⁾

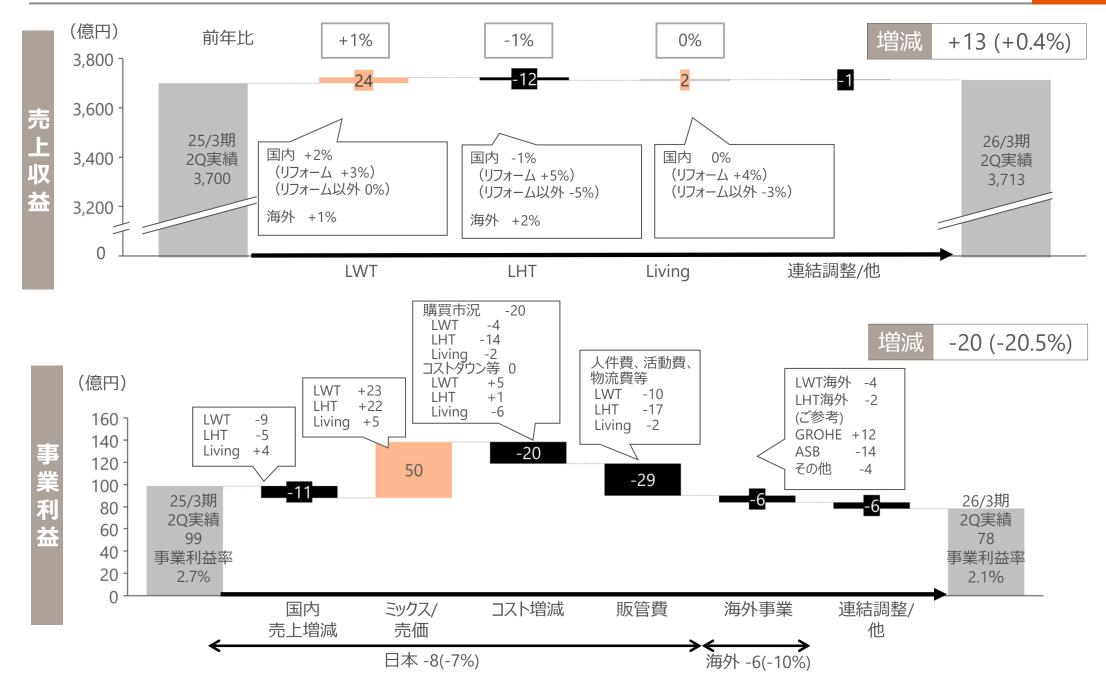
	26/3期 上期 6ヵ月							26/3期 第2四半期 3ヵ月				
	海外 事業 合計	アメリカ	欧州	インド、 中東、 アフリカ 地域	アジア 太平 洋 地域	中国	海外 事業 合計	アメリカ	欧州	インド、 中東、 アフリカ 地域	アジア 太平 洋 地域	中国
売上構成比												
水栓金具 (浴室)	42%	13%	60%	61%	34%	49%	42%	13%	59%	60%	34%	49%
衛生陶器等	44%	66%	24%	35%	62%	39%	44%	67%	25%	36%	63%	38%
水栓金具 (キッチン)	8%	5%	15%	4%	3%	5%	8%	6%	15%	4%	3%	6%
浴槽・シャワーシステム	4%	13%	0%	0%	1%	1%	4%	12%	0%	0%	1%	1%
その他	2%	3%	1%	0%	1%	6%	2%	3%	1%	0%	0%	6%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
売上伸び率												
水栓金具 (浴室)	+3%	-12%	+2%	+18%	+5%	-2%	+4%	-14%	+3%	+19%	+1%	+1%
衛生陶器等	+2%	+1%	+11%	+17%	-0%	-16%	+4%	+3%	+13%	+15%	-2%	-12%
水栓金具 (キッチン)	+4%	-9%	+7%	+12%	+48%	-3%	+8%	-3%	+11%	+23%	+33%	+3%
浴槽・シャワーシステム	-24%	-25%	-16%	-21%	+8%	+46%	-24%	-25%	-8%	+10%	+9%	+53%

⁽¹⁾ LIXIL Playbookの優先課題『ウォーター事業における海外事業の成長促進』の進捗については統合報告書2025 p.27、29-32、74をご参照ください https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/ir-material-for-fiscal-ym37/181737/00.pdf#page=28

> 2026年3月期 上期(6ヵ月)売上収益・事業利益の増減(前年同期差) LIXIL



2026年3月期 第2四半期(3ヵ月) 売上収益·事業利益の増減(前年同期差)



2026年3月期 第2四半期(中間期) その他収益・費用、金融収益・費用 内訳

(億円)	25/3期 上期実績	26/3期 上期実績	増減	
持分法適用に伴う再測定による利益	-	16	(1) +16	■ その他の収益:
その他	35	25	-10	(1)出資先の持分法適用 会社化による一時的な
その他の収益	35	41	+7	収益認識(1Q計上)
有形固定資産処分損	4	4	0	
減損損失	3	27		■ その他の費用:
その他	34	65	(3) +31	(2) ITシステムの減損計上
その他の費用	41	96	+55	
				(3) LHT窯業サイディング事
受取利息	9	11	+2	業撤退による費用、欧州拠点の再編コスト含む
受取配当金	7	7	0	ができる。
デリバティブ評価益	4	1	-3	
その他	2	1	-1	
金融収益	21	20	-2	
支払利息	60	56	-4	
為替差損	15	30	+15	■ 為替差損:足元の為替
その他	3	0	-2	変動による為替差損の 計上
金融費用	78	87	+9	□ _ -

> セグメント別 実績及び通期業績予想

		25	/3期 上期	朝		26/3其	上期		2	6/3期 通	期予想	
	(億円)	日本	海外	計	日本	海外	計	前年 同期比%	日本	海外	合計	前期比%
	売上収益	1,480	2,489	3,969	1,540	2,389	3,929	-1.0%	3,200	5,110	8,310	+3.2%
LWT	事業利益	78	63	140	96	109	206	+46.4%	205	200	405	+9.9%
	%	5.3%	2.5%	3.5%	6.3%	4.6%	5.2%	+1.7 pt	6.4%	3.9%	4.9%	+0.3 pt
	売上収益	2,483	130	2,612	2,463	129	2,592	-0.8%	5,090	280	5,370	+1.9%
LHT	事業利益	117	7	123	119	4	123	-0.4%	280	15	295	+13.3%
	%	4.7%	5.1%	4.7%	4.8%	3.0%	4.7%	+0.0 pt	5.5%	5.4%	5.5%	+0.6pt
	売上収益	978		978	1,003		1,003	+2.6%	2,100		2,100	+2.2%
Living	事業利益	27		27	34		34	+26.4%	105		105	+45.3%
	%	2.8%		2.8%	3.4%		3.4%	+0.6 pt	5.0%		5.0%	+1.5 pt
連結調整	売上収益			-161			-164	-			-380	
•他(1)	事業利益			-186			-194	-			-455	-
	売上収益	4,941	2,618	7,398	5,006	2,518	7,359	-0.5%	10,390	5,390	15,400	+2.3%
	事業利益	221	69	105	250	113	169	+60.4%	590	215	350	+11.7%
LIXIL ⁽¹⁾	%	4.5%	2.6%	1.4%	5.0%	4.5%	2.3%	+0.9 pt	5.7%	4.0%	2.3%	+0.2pt

⁽¹⁾ 国内・海外の売上収益/事業利益の合計と「計」の金額の差は、連結調整・他の金額

⁽²⁾ 新報告セグメントによる前年度開示数字については、2025年4月30日公表の「25/3期決算説明資料」をご参照ください

> 主要海外子会社

ASB							26/3期			
(ASD Holdings) (百万米ドル)	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	累計	上期前年同期比	
売上収益	298	286	262	276	1,122	247	250	497	-15%	
事業利益	-12	-6	-13	-12	-44	-19	-16	-34	-	
事業利益率	_	-	_	_	_	_	-	_	_	

Grohe Group		25/3期					26/3期			
(グローエ) (百万ユーロ)	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	累計	上期前年同期比	
売上収益	390	393	412	406	1,601	417	425	842	+7%	
事業利益	20	39	44	47	150	51	44	96	+62%	
事業利益率	5%	10%	11%	12%	9%	12%	10%	11%	+3.8pt	

ASB (ASD Holdings)	25/3期	26/3期	
(百万米ドル)	残高	上期残高	
のれん ⁽¹⁾	225	225	
無形資産(1)	221	218	

Grohe Group (グローエ)	25/3期	26/3期
(百万ユーロ)	残高	上期残高
のれん ⁽¹⁾	1,199	1,182
無形資産(1)	1,382	1,377

26/3期 上期実績

為替レート 期中平均 期末

USD 146.57円 148.88円

EUR 167.74円 174.47円

(1) のれん及びその他の無形資産とその評価については、2025年3月期 有価証券報告書 p.145-147「14. のれん及びその他の無形資産」に記載 https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/yuho_pdf/S100VYMK/00.pdf#page=145

)(ご参考)事業関連・ESG関連トピックス

■ イノベーションによる豊かで快適な住まいの実現

着脱式の浴槽を備えたシステムバス「bathtope」の最上位モデルを発売(1)





- ・「お風呂はもっと、自由でいい。」をコンセプトに、昨年国内で販売開始した、布製のたためる浴槽を備えた浴室空間「bathtope」の最上位モデルを発売
- 最上位モデルGタイプの特長は、スライドドアによる浴室と 洗面のシームレスな接続。ハイエンドアイテムを厳選して 採用し、開放的で洗練された浴室空間を演出
- 暮らしの多様化にあわせ、快適な住まいの実現に向けた付加価値の高い製品やサービス提供

■脱炭素・資源循環型社会への貢献

循環型低炭素アルミ「PremiAL」を価格据え置きで標準展開⁽²⁾



- ・ アルミ新地金のみで製造した場合と比較してCO₂排出量を 約50%削減する循環型低炭素アルミ「PremiAL」を、価 格据え置きでLIXIL製品のアルミ(LIXIL製造のアルミ形材 のみ)に10月より順次展開
- ・ 脱炭素化社会の実現に貢献。環境配慮と経済性を両立 し、LIXILが創出するインパクトをさらに拡大
- 「PremiAL R100」がロイター・グローバル・サステナビリティ・アワード2025のファイナリストに総申請数750社以上の中から選出

■ 多様化するライフスタイルやニーズに対応し 豊かで快適な住まいを実現

「洗面空間の当たり前を変えていく」 洗面新製品を発売(1)





- ・「カスタムバニティ」: 大容量の洗面ボウル・清掃性の 高さといった機能性と豊富なカラーバリエーションによるデザイン性を両立。見積、提案書、図面、手配ま で一括の"セット提案"でプロユーザーの業務負荷軽 減に貢献
- ・「ランドリープラス」: 間取りや理想に合わせて、バリエーション豊かなアイテムを自由に組み合わせることで、お好みのランドリー空間を実現。最適な動線により家事効率向上に貢献

■グローバルな衛生課題の解決

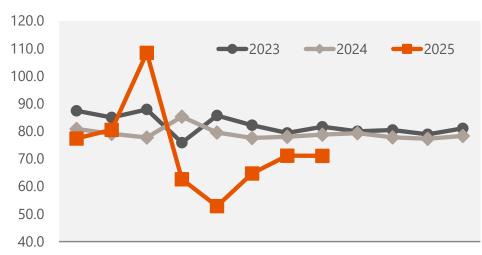
第9回アフリカ開発会議(TICAD 9) パートナーイベントに参画



- ・ グローバルヘルスのためのインパクト投資イニシアティブ(トリプル・アイ)、 内閣官房およびUNICEF(国連児童基金)が共催するアフリカが直面 する健康課題に焦点を当てたイベントに瀬戸CEOが登壇し、衛生環境の 改善に向け、官民の枠を超えた連携の重要性について議論
- 上記トリプル・アイのイベントに加えて、LIXILとUNICEFの「MAKE A SPLASH!」パートナーシップ⁽²⁾のパネルディスカッション(LIXIL主催) ⁽³⁾では、SDGs目標6の達成に向け、持続的な「衛生経済圏」の構築に必要な学び*を報告
- *支援が届きにくい地域でのサプライチェーン構築、官民連携による普及促進、市場分断是正、公的資金の活用、政策への積極関与、制度の整備について

> 事業環境

■ 日本における新築着工数の推移 (季節調整値年率)



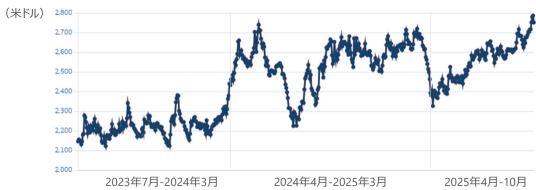
(万戸) JAN FEB MAR APR MAY JUN JUL AUG SEP OCT NOV DEC 出所:国土交通省公表 新設着エデータ (2023/1-2025/8)

■ 新築着工水準 (対前年比)

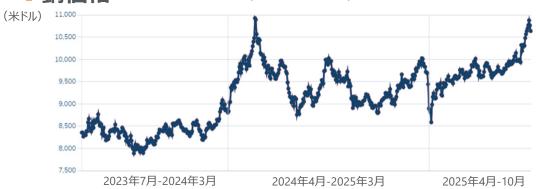
2025/1-6: -7.5%2025/1-8: -8.1%

		2025年1月-8月 (8ヵ月)		2025年4, (5ヵ月	
		戸数	前年比	戸数	前年比
糸	8数	483,584	-8.1%	277,065	-19.4%
	持家(1)	129,534	-8.5%	76,782	-18.1%
	貸家	214,955	-5.9%	122,118	-18.9%
	分譲マンション	58,831	-16.5%	30,551	-32.1%
	分譲戸建(2)	74,274	-7.1%	43,358	-13.7%
		203,808	-8.0%	120,140	-16.6%

■ アルミ価格 出所: LME 3ヵ月先物 (23/7/3-25/10/14)



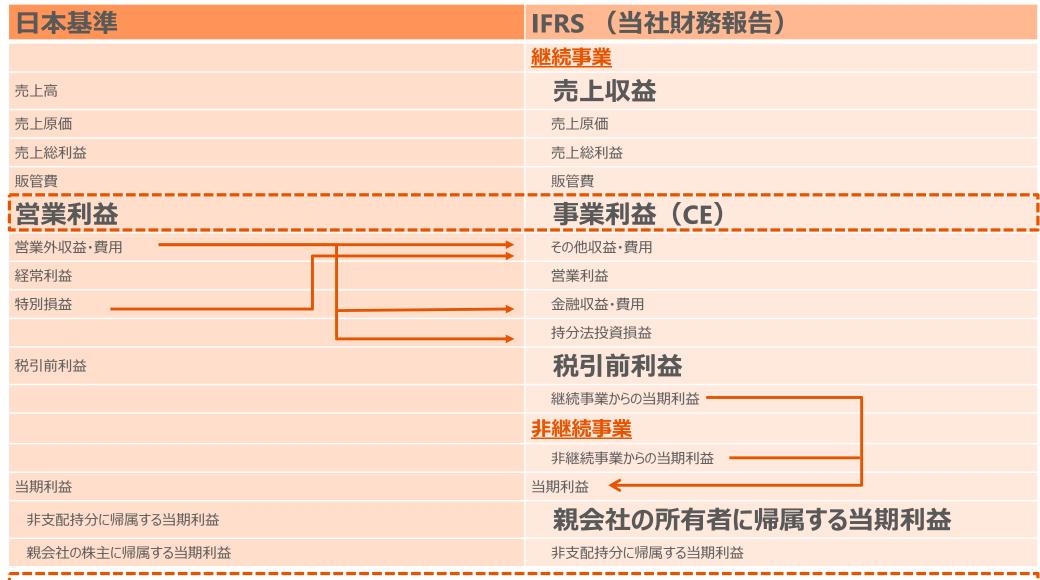
銅価格 出所:LME 3ヵ月先物 (23/7/3-25/10/14)



為替 (期中平均レート)	24/3期 実績	25/3期 実績	26/3期 計画前提
米ドル	144.40円	152.48円	155.0円
ユーロ	156.80円	163.62円	161.2円

原材料価格の実績	24/3期 実績	25/3期 実績	26/3期 計画前提
アルミ価格(購入ベース)	33.5万円/トン	39.8万円/トン	44.8万円/トン
銅合金価格	100.9万円/トン	117.0万円/トン	126.2万円/トン

(ご参考) 2016年3月期よりIFRSに移行しています 各段階利益の名称の違いは以下の通りです



IFRS基準の「事業利益 (CE)」は日本基準の「営業利益」に相当



この資料には、㈱LIXILの将来についての計画と予測の記述が含まれています。 これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な要素により 当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

MAKE BETTER HOMES A REALITY FOR EVERYONE, EVERYWHERE 世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現